

1. M. Ohtsu, "Embarking on theoretical studies for off-shell science guided by dressed photons," Off-shell Archive (November 2018), OffShell:1811R.001.v1. DOI: 10.14939/1811R.001.v1
2. M. Ohtsu, T. Kawazoe, "Gigantic Ferromagnetic Magneto-Optical Effect in a SiC Light-emitting Diode Fabricated by Dressed-Photon-Phonon-Assisted Annealing," Off-shell Archive (September 2018), OffShell:1809R.001.v1. DOI: 10.14939/1809R.001.v1
3. M. Ohtsu, T. Kawazoe, "Principles and Practices of Si Light Emitting Diodes using Dressed Photons," Off-shell Archive (May 2018), OffShell:1805R.001.v1. DOI: 10.14939/1805R.001.v1
4. M. Ohtsu, T. Kawazoe, "Experimental estimation of the maximum size of a dressed photon," Off-shell Archive (February 2018), OffShell:1802R.001.v1. DOI: 10.14939/1802R.001.v1
5. M. Ohtsu and H. Sakuma, "Creation and Measurement of Dressed Photons: A Link to Novel Theories," Off-shell Archive (December 2017), Offshell:1712R.001.v1. DOI: 10.14939/1712R.001.v1
6. M. Ohtsu, T. Kawazoe, and H. Saigo, "Spatial and Temporal Evolutions of Dressed Photon Energy Transfer," Off-shell Archive (October 2017), Offshell:1710R.001.v1. DOI: 10.14939/1710R.001.v1
7. H. Sakuma, I. Ojima and M. Ohtsu, "Dressed photons in a new paradigm of off-shell quantum fields," Progress in Quantum Electronics Vol.55, September 2017, pp.74-87
8. M. Ohtsu, "New Routes to Studying the Dressed Photon," Off-shell Archive (September 2017), Offshell:1709R.001.v1. DOI: 10.14939/OffShell.1709R.001.v1
9. 大津元一、「複雑系としてのドレスト光子とその応用」、レーザー研究、第45巻、第3号、2017年3月、pp.139-143
10. 大津元一、「ドレスト光子とその応用」、応用物理、第85巻、第12号、2016年12月、pp.1023-1027
11. 大津元一、「総論：ドレスト光子とは何か？その応用展開は？」、ドレスト光子が切り拓く革新的光技術 第1回、オプトロニクス、第412巻、第4号、2016年4月、pp.135-138
12. M. Ohtsu, "International Center for Nano Electron and Photon Technology: At the Forefront for Global R&D and International Collaboration," Assoc. Asia and Pacific Phys. Soc. Bull. Vol.25, No.5 (2015) pp.35-38
13. 大津元一、「近接場光学の過去、現在、未来」、光技術コンタクト、第53巻、第6

- 号、2015年6月、pp.3-13
14. 大津元一、「近接場光の科学と技術」、パリティ、第30巻、第5号、2015年5月、pp.26-27
  15. M. Ohtsu, “From Classical to Modern Near-Field Optics and the Future,” *Optical Review*, Vol.21, No.6, June 2014, pp.905-910.
  16. 大津元一、川添忠、「ドレスト光子によるバルク結晶シリコン発光素子」、光学、第43巻、第8号、2014年8月、pp.366-370
  17. T. Yatsui, W. Nomura, F. Stehlin, O. Soppera, M. Naruse, and M. Ohtsu, “Challenge in realizing ultraflat material surfaces,” *Beilstein Journal of Nanotechnology*, Volume 4, December 2013, pp.875- 885. (Review article)
  18. 八井崇、大津元一、「ドレストフォトンナノポリッシングを用いた超平滑加工技術の開発」、『レーザー加工学会誌』、第20巻、第2号、2013年7月、pp. 130-132
  19. 大津元一、斎木敏治、成瀬誠、「JSPS Sweden-Japan Collaboration Symposium - June 3-4 2013 :Exploring the Future of Light, Matter, and Information on the Nanoscale」、日本学術振興会ストックホルムニュースレター、Vol. 38、2013年6月、p. 3, p. 8
  20. 八井崇、大津元一、「ドレストフォトンを用いた新産業応用の開拓」、レーザー研究、Vol. 41、No. 3、2013年3月、pp. 166-170
  21. 大津元一、「ドレスト光子の発生と基盤技術としての展開」、光技術コンタクト、1月号、第51巻、第1号、2013年1月、pp.29-34
  22. 八井 崇、大津元一、「もし「光ロスが発生しない光学材料」が実用化されたら世の中はどう変わるのか?」、*MATERIAL STAGE*、8月号、第12巻、第5号、2012年8月、pp.1-4
  23. 豎直也、成瀬誠、大津元一、「近接場光を用いたナノ光情報システム」、化学工業、第63巻、第8号、2012年8月、pp. 49-54
  24. 成瀬誠、川添忠、大津元一、「ナノ領域の光と物質との相互作用を用いた新機能デバイス」、『電子情報通信学会誌』、第95巻、第4号、2012年4月、pp. 330-334
  25. 大津元一、「総論」、『OPTRONICS』、Vol. 31、 No.363、2012年3月、p. 76-79
  26. 川添忠、大津元一、「バルク結晶シリコンを用いた高効率・高出力発光ダイオード」、『OPTRONICS』、Vol. 31、 No.363、2012年3月、p. 85-88
  27. 八井崇、大津元一、「ZnO ナノ構造のナノフォトニックデバイスへの応用」、『レーザー研究』、第39巻、第3号、2011年3月、pp. 184-187.
  28. 大津元一、「ついに室温動作したナノフォトニック論理ゲートデバイス」—一枚の写真—、『0 plus E』、第32巻、第12号、2010年12月、pp. 1393-1394.
  29. 八井崇、大津元一、「近接場光を利用した新しい光励起によるナノ材料加工技術」、『日本写真学会誌』、第72巻、第6号、2010年12月、(pp. 297-302)

30. 成瀬誠、川添忠、大津元一、「低消費エネルギーを実現するナノフォトニクス技術」、『光学』、第 39 巻、第 10 号、2010 年 10 月、pp. 476-481
31. 大津元一、「NEDO 特別講座 ー光技術の最先端分野を推進する技術者・研究者育成ー」、～光学分野における人材育成～、『光学』、第 39 巻、第 6 号、2010 年 6 月、pp. 277-281
32. 八井崇、大津元一、「ナノフォトニックデバイス」、～特集：ナノフォトニクス～、『0 plus E』、第 32 巻、第 2 号、通巻 363 号、2010 年 2 月、pp. 136-139
33. 八井崇、大津元一、「最近のナノフォトニック加工技術」、～特集：最近のナノフォトニクス (2) ～、『光技術コンタクト』、第 47 巻、第 11 号、通巻 552 号、2009 年 11 月号、p. 563-569(3-9)
34. 大津元一、「光・物質融合科学技術が進む」、巻頭言、～特集：近接場光を用いた光工学技術の革新的発展～、『表面科学』、第 30 巻、第 11 号、2009 年 11 月、p. 599
35. 大津元一、「近接場光による光技術の質的変革」、～特集：近接場光を用いた光工学技術の革新的発展～、『表面科学』、第 30 巻、第 11 号、2009 年 11 月、pp. 600-606
36. 大津元一、「東京大学大学院工学系研究科大津・八井研究室 =ドレスト光子の科学とナノフォトニクス技術の開拓=」、研究室紹介、『光アライアンス』、第 20 巻、第 11 号、2009 年 11 月、pp. 60-61
37. 大津元一、「NEDO 特別講座「ナノフォトニクスの総合的展開」、『特集：光科学の研究拠点へ ～創出ラッシュ～』、『光アライアンス』、第 20 巻、第 9 号、2009 年 9 月、pp. 19-23
38. 大津元一、「「なぜ？」に答えるには二国間セミナーで」、『談話室』、『応用物理』、第 78 巻、第 5 号、2009 年 5 月、pp. 473-474
39. 大津元一、「ナノフォトニクスによる光技術の質的変革」、『応用物理』、第 77 巻、第 11 号、2008 年 11 月、pp. 341-1352
40. 大津元一、「成瀬誠氏の論文紹介 (平成 19 年度光学論文賞受賞論文紹介)」、『光学』、第 37 巻、第 4 号、2008 年 4 月、p. 245
41. 大津元一、「記録密度の限界を超えた近接場光・磁気ハイブリッド記録技術」、『自動車技術』、第 62 巻、第 5 号、2008 年 5 月、pp. 98-99
42. 大津元一、川添忠、八井崇、野村航、「ナノフォトニクス：物質の衣をまとった光子とそのデバイスへの応用」、レーザー学会誌『レーザー研究』、第 36 巻、第 3 号、2008 年 3 月、pp. 123-127
43. 大津元一、「ナノフォトニクス技術とその将来=大容量光ストレージの開発事業を例として=」『特集 近接場光を用いた超高密度光ストレージ』、光アライアンス、第 19 巻、第 4 号、2008 年 4 月、pp. 41-43
44. 大津元一、「総論」『特集 ナノフォトニクス・イノベーション』、オプトロニクス、

- 第 27 卷、第 314 号、2008 年 2 月、pp. 106-107
45. 西林一彦、川添忠、大津元一、「S PMとナノフォトニクス」、固体物理、第 42 卷、第 11 号、2007 年 11 月、pp. 823-834
  46. 大津元一、「光と物質の融合技術の展開」、電子情報通信学会誌、第 90 卷、第 1 号、2007 年 9 月、pp. 759-761
  47. 八井 崇、三宮 俊、大津元一、「近接場相互作用により駆動するナノフォトニックデバイスの進展」、『応用物理』、第 76 卷、第 2 号、2007 年 2 月、pp. 160-163
  48. 大津元一、「光と物質の融合した科学技術を完成させたい」（－私のチャレンジしたい化学の未解決問題－新春特集・化学の夢・未来）、化学、第 62 卷、第 1 号、2007 年 1 月、pp. 18-19
  49. T. Yatsui, W. Nomura, and M. Ohtsu, “Nanodot couplers provide efficient near-field energy transfer,” SPIE Newsroom, October 2006, (DOI: 10.1117/2.1200610.0427) <http://newsroom.spie.org/x4926.xml>
  50. 大津元一、「ナノフォトニクスという変革－光技術に質的変革をもたらした新概念の歩みと将来」、『科学』岩波書店、第 76 卷、第 10 号、2006 年 10 月、pp. 984-990
  51. 大津元一、「工学系の科研費審査に携わって」、『学術月報』、第 59 卷、第 10 号、2006 年 10 月、pp. 37-38
  52. 大津元一、「ナノフォトニクスによる質的改革の年がスタート」、OPTRONICS、第 25 卷、第 1 号、2006 年 1 月、pp. 143
  53. 齋藤裕一、物部秀二、大津元一、本間英夫、「超音波照射を用いた無電解ニッケルめっきによる近接場光学プローブの作成」、表面技術、第 56 卷、第 12 号、2005 年 12 月、pp. 200-203
  54. 大津元一、「ナノフォトニクスの将来展望」、工業材料、第 53 卷、第 12 号、2005 年 12 月、pp. 80-83
  55. 八井崇、大津元一、「ナノ光デバイスとその製作－近接場光特有の動作と加工技術」、O Plus E、第 27 卷、第 12 号、2005 年 12 月、pp. 1388-1392
  56. 大津元一、「光の回折限界を超えるナノフォトニクスとその材料」、工業材料、第 53 卷、第 7 号、2005 年 7 月、pp. 18-21
  57. 大津元一、「ナノフォトニクスとは：そのニーズとシーズ」、工業材料、第 53 卷、第 6 号、2005 年 6 月、pp. 78-81
  58. 物部秀二、齋藤裕一、本間英夫、大津元一、「超音波照射下無電解めっきによる近接場光学顕微鏡プローブの作製」、マテリアルインテグレーション、第 18 卷、第 4 号、2005 年 4 月、pp. 29-32
  59. 川添忠、小林潔、大津元一、「ナノ物質間の近接場光相互作用の研究と展開」、固体物理、第 40 卷、第 4 号、2005 年 4 月、pp. 227-238

60. 八井崇、大津元一、「近接場光による微細加工」、精密工学会誌、第 71 巻、第 3 号、2005 年 3 月、pp. 311-314
61. 八井崇、大津元一、「ナノフォトニクス：近接場光による寸法・位置制御ナノ光加工」、日本写真学会誌、第 67 巻、第 3 号、2004 年 6 月、pp. 281-287
62. 大津元一、「近接場光とは何か?」、O plus E、第 26 巻、第 4 号、2004 年 4 月、pp. 372-377
63. 小林潔、三宮俊、大津元一、「ナノ領域の電子-光子相互作用システムとしての近接場光」、O plus E、第 26 巻、第 4 号、2004 年 4 月、pp. 406-411
64. 八井崇、野村航、大津元一、「プラズモン・ポラリトンナノ光回路」、光学、第 33 巻、第 3 号、2004 年 3 月、pp. 174-176
65. 大津元一、川添忠、八井崇、「ナノ光加工：光加工のパラダイムシフト」、O plus E、第 25 巻、第 12 号、2003 年 12 月、pp. 1369-1374
66. 大津元一、「近接場光とは何か」、ぶんせき、第 12 号、2003 年 12 月、pp. 716-721
67. 小林潔、大津元一、「2002 年光学界の進展 7. 近接場光学」、光学、第 32 巻、第 4 号、2003 年 4 月、pp. 211-212
68. 大津元一、「ナノフォトニクス事始め」、未来材料、第 3 巻、第 3 号、2003 年 3 月、pp. 78-81
69. 大津元一、「ナノフォトニクス」、電子情報通信学会誌、第 85 巻、第 11 号、2002 年 11 月、pp. 834-838
70. 大津元一、「総論：ナノフォトニクスとは何か? その目指す方向は?」、オプトロニクス、通巻 251 号、2002 年 11 月、pp. 128-131
71. 伊藤治彦、戸塚弘毅、大津元一、「光近接場による原子の偏向と検出」、光学、第 31 巻、第 10 号、2002 年 10 月、pp. 755-757
72. 大津元一、「ナノフォトニクス - ナノ寸法の光デバイスの動作と加工--」、学術月報、第 55 巻、第 8 号、2002 年 8 月、pp. 764-768
73. 大津元一、「ナノフォトニクス」、日本機械学会誌、第 105 巻、第 1004 号、2002 年 7 月、pp. 11-15
74. M. Ohtsu, "Optical recording by optical near field," OITDA Newsletter, No. 17, March 2002, by Optoelectronic Industry and Technology Development Association, Tokyo, pp. 1-8
75. 大津元一、「ナノフォトニクスのための近接場光学入門」、光学、第 31 巻、第 2 号、2002 年 2 月、pp. 120-127
76. 大津元一、「ナノフォトニクスとナノ光集積デバイス」、O plus E、第 24 巻、第 1 号、2002 年 1 月、pp. 28-33
77. 大津元一、「近接場光学顕微鏡の進展」、光技術コンタクト、第 39 巻、第 4 号、2001

年 4 月、pp. 202-211

78. 大津元一、「ナノフォトニクスとその展望」、電子情報通信学会誌、第 84 巻、第 1 号、2001 年 1 月、pp. 26-32
79. 大津元一、「IT のハードウェア技術を支える光ナノテクノロジー」、0 plus E、第 23 巻、第 1 号、2001 年 1 月、pp. 49-52
80. 大津元一、「興梠元伸氏の論文紹介」、光学、第 30 巻、第 4 号、2001 年 4 月、p. 278
81. 李謹炯、山本洋、興梠元伸、大津元一、「近接場光によるナノ領域堆積」、応用物理、第 69 巻、第 10 号、2000 年 10 月、pp. 1222-1223
82. 物部秀二、大津元一、「光ファイバーの選択エッチングとその応用」、ニューガラス、第 15 巻、第 2 号、2000 年、pp. 47-50
83. 大津元一、「巻頭言」、応用物理、第 69 巻、第 6 号、2000 年 6 月、p. 629
84. 大津元一、「近接場光技術とその展開」、精密工学会誌、第 66 巻、第 5 号、2000 年 5 月、pp. 661-666
85. 物部秀二、大津元一、「近接場光学用プローブの作製法」、精密工学会誌、第 66 巻、第 5 号、2000 年 5 月、pp. 667-670
86. 李謹炯、山本洋、興梠元伸、大津元一、「近接場光によるナノメートル寸法物質の堆積」、電気学会論文誌 C、第 119-C 巻、第 10 号、1999 年 10 月、pp. 1113-1118
87. 大津元一、「ナノ領域の光加工とその応用」、応用物理、第 68 巻、第 4 号、1999 年 4 月、p. 431-434
88. 大津元一、「近接場光学とは パラダイム・シフトのための初歩的 Q&A」、0 plus E、第 21 巻、第 3 号、1999 年 3 月、pp. 248-254
89. Y. Narita, T. Tadokoro, T. Ikeda, T. Saiki, S. Mononobe, and M. Ohtsu, "Subwavelength spatial resolution mapping measurement using near-field spectrometers," American Laboratory news edition, Vol. 31, No. 5, February 1999, pp. 22-24
90. M. Ohtsu, "Near-Field optical technology for nano/atom photonics," Condensed Matter News, Vol. 7, Issues 2-3, 1999, pp. 49-51
91. 伊藤治彦、大津元一、「近接場光を用いた原子の制御」、光学、第 28 巻、第 11 号、1999 年 11 月、pp. 610-615
92. 芦野慎、大津元一、「局在プラズモン共鳴プローブの開発と新しいニアフィールド顕微鏡」、応用物理、第 67 巻、第 12 号、1998 年 12 月、pp. 1404-1405
93. 大津元一、「近接場光学用プローブ」、固体物理、第 33 巻、第 10 号、1998 年 10 月、pp. 835-839
94. M. Ohtsu, K. Tsutsui, and M. Kouroggi, "Near field optics and its application to optical memory," Electronics and Communications in Japan, Part 2, Vol. 81,

No. 8, August 1998, pp. 41-48

95. 齊木敏治、大津元一、「近接場光学顕微鏡の固体光物性への応用」、固体物理、第 33 卷、第 5 号、1997 年 5 月、pp. 395-403
96. 大津元一、筒井一生、興梠元伸、李明馥、「近接場光学とその光メモリへの応用」、電子情報通信学会 C-I 論文誌」、第 J81 巻、第 3 号、1998 年 3 月、pp. 119-126
97. 興梠元伸、大津元一、「広スパン光周波数コムの発生と応用」、応用物理、第 67 巻、第 5 号、1998 年 5 月、pp. 551-554
98. 大津元一、「小さな光でナノ、原子を測る、加工する、操る」、KAST Report、第 9 巻、第 2 号、1997 年 12 月、pp. 20-27
99. 大津元一、「「近接場の光学」？それとも「近接場光の学？」」、光学、第 10 巻、第 10 号、1997 年 10 月、p509
100. 齊木敏治、大津元一、「近接場光学顕微鏡による半導体微細・量子構造の分光評価」、光学、第 10 巻、第 10 号、1997 年 10 月、pp. 525-530
101. 大津元一、「光で見えないものを光で見る、操る、加工する」、第 47 回、東レ科学振興会科学講演会記録、1997 年 9 月、東京、pp. 19-34
102. 大津元一、「近接場光学顕微鏡の現状と将来」、機械の研究、第 49 巻、第 5 号、1997 年 5 月、pp. 529-535
103. 齊木敏治、大津元一、「近接場光学顕微鏡による半導体試料の分光観察」、応用物理学会、有機分子・バイオエレクトロニクス分科会 会誌、第 8 巻、第 1 号、1997 年 2 月、pp. 17-27
104. 大津元一、「近接場光学顕微鏡でどこまで高分解能が得られるか？(2)」、表面科学、第 18 巻、第 1 号、1997 年 1 月、pp. 55-57
105. 伊藤治彦、大津元一、「光近接場を用いた原子の誘導」、レーザー研究、第 10 巻、第 10 号、1997 年 10 月、pp. 682-686
106. 伊藤治彦、大津元一、「原子を導く光のトンネルエバネッセント光による原子の制御」、現代化学、通巻 311 号、1997 年 2 月、pp. 49-55
107. 大津元一、「近接場光学顕微鏡の現状と将来」、超精密、第 6 巻、1996 年 12 月、pp. 38-44
108. 大津元一、「近接場光学顕微鏡でどこまで高分解能が得られるか？(1)」、表面科学、第 17 巻、第 12 号、1996 年 12 月、pp. 771-774
109. 大津元一、「近接場光学による超高密度光メモリ」、電子情報通信学会誌、第 79 巻、第 11 号、1996 年 11 月、pp. 1160-1164
110. 大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡技術」、応用物理、第 65 巻、第 1 号、1996 年 1 月、pp. 2-12
111. 大津元一、「光周波数の基準と計測」、オプトロニクス、第 15 巻、第 5 号、1996

年 5 月、pp. 153-156

112. 大津元一、「新しい近接場光学技術」、電子情報通信学会誌、第 78 巻、第 12 号、1995 年 12 月、pp. 1271-1272
113. 大津元一、「私の発言」、0 plus E、第 192 号、1995 年 11 月、pp. 58-63
114. 大津元一、「光の回折限界を超えるには」、化学、第 150 巻、第 11 号、1995 年 11 月、pp. 23-25
115. 大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡によるナノメータ画像計測と加工・操作」、非破壊検査、第 44 巻、第 10 号、1995 年 10 月、pp. 776-782
116. 大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡」、光学、第 23 巻、第 12 号、1994 年 12 月、pp. 733-739
117. 大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡」、パリティ、第 9 巻、第 11 号、1994 年 11 月、pp. 60-65
118. 大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡と原子操作」、光技術コンタクト、第 32 巻、第 1 号、1994 年 1 月、pp. 45-48
119. 興梠元伸、大津元一、「光領域の周波数コム発生器」、応用物理、第 63 巻、第 9 号、1994 年 9 月、pp. 915-918
120. 大津元一、「半導体レーザーの周波数制御」、レーザー研究、第 22 巻、第 8 号、1994 年 8 月、pp. 610-616
121. 大津元一、「将来技術・先端技術」、電学誌、第 113 巻、第 11 号、1993 年 11 月、pp. 925-927
122. 大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡とその応用」、BME、第 7 巻、第 11 号、1993 年 11 月、pp. 47-53
123. 大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡と極微加工」、表面、第 31 巻、第 9 号、1993 年 9 月、pp. 693-697
124. 大津元一、「0（ゼロ）を制御する工学—光による新しい「真空」の工学」、真空、第 36 巻、第 5 号、1993 年 5 月、pp. 461-470
125. 大津元一、「原子も見える光学顕微鏡—フォトン STM で極微計測・加工—」、電学誌、第 113 巻、第 5 号、1993 年 5 月、pp. 381-384
126. 大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡：光の回折限界を越えて」、日本物理学会誌、第 48 巻、第 1 号、1993 年 1 月、pp. 25-28
127. 大津元一、堀裕和、「フォトン STM の実験と理論」、光学、第 21 巻、第 11 号、1992 年 11 月、pp. 780-788
128. 大津元一、堀裕和、「光による原子レベルの計測と制御」、計測と制御、第 31 巻、第 9 号、1992 年 9 月、pp. 943-948

129. 大津元一、「光と原子をどこまで制御できるか?」、電子情報通信学会誌、第 75 巻、第 8 号、1992 年 8 月、pp. 870-873
130. 大津元一、「「フォトン STM」で何が可能か?」、エレクトロニクス、第 37 巻、第 4 号、1992 年 4 月、pp. 68-72
131. 大津元一、「光 STM による極微細加工技術」、金属、第 62 巻、第 3 号、1992 年 3 月、pp. 39-44
132. 大津元一、「光による単一原子の運動制御」、精密工学会誌、第 58 号、第 3 巻、1992 年 3 月、pp. 410-411
133. 大津元一、「超広帯域光スイープジェネレータ」、学術月報、第 45 巻、第 5 号、1992 年 5 月、p. 500
134. 大津元一、蔣曙東、大澤日佐雄、「フォトン走査トンネル顕微鏡」、レーザー研究、第 19 巻、第 8 号、1991 年 8 月、pp. 839-848
135. 大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡とその展開」、0 plus E、第 138 号、1991 年 5 月、pp. 90-97
136. 蔣曙東、富田直幸、大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡」、光学、第 20 巻、第 3 号、1991 年 3 月、pp. 134-141
137. 大津元一、「半導体レーザー」、応用物理、第 60 巻、第 9 号、1991 年、pp. 935-936
138. 中川賢一、大津元一、「超高安定レーザーの実現へ向けて」、天文月報、第 84 巻、第 4 号、1991 年 4 月、pp. 125-126
139. 大津元一、「あなたの時計はいま何時?」、パリティ、第 6 巻、第 10 号、1991 年 10 月、pp. 28-34
140. 大津元一、「フォトン走査トンネル顕微鏡」、触媒、第 32 巻、第 8 号、1990 年 12 月、pp. 548-550
141. 大津元一、申哲浩、「レーザの周波数揺らぎ、スペクトル線幅計測」、オプトロニクス、第 8 号、1990 年、pp. 56-62
142. 大津元一、申哲浩、楠澤英夫、興梶元伸、鈴木宏昌、「半導体レーザの周波数・位相制御」、電子情報通信学会論文誌、第 J73-C-1 巻、第 5 号、1990 年 5 月、pp. 277-285
143. 大津元一、中川賢一、「半導体レーザーの周波数制御とその応用」、応用物理、第 58 巻、第 10 号、1989 年、pp. 1428-1444
144. 大津元一、「ハイパーコヒーレント光の実現」、サイエンス、1989 年 3 月、pp. 64-73
145. 大津元一、「センシング応用のための半導体レーザの高コヒーレント化」、オプトロニクス、第 9 号、1988 年、pp. 97-101
146. 大津元一、「半導体レーザの周波数制御」、光学、第 17 巻、第 6 号、1988 年 6 月、pp. 272-278

147. 大津元一、「センサ用発光素子」、ニューガラス、第3巻、第2号、1988年、pp. 64-71
148. 大津元一、「半導体レーザー周波数の精密制御」、光技術コンタクト、第26巻、第1号、1988年1月、pp. 35-42
149. M. Ohtsu, "Frequency stabilization in semiconductor lasers," Optical and Quantum Electronics, Vol. 20, 1988, pp. 283-300
150. 大津元一、「半導体レーザーのコヒーレンスの向上技術」、光学、第69巻、第10号、1986年、pp. 1027-1033
151. 大津元一、伊賀健一、「光センサー・計測用の半導体レーザー」、応用物理、第54巻、第7号、1985年、pp. 747-749
152. 大津元一、「レーザーの雑音」、月刊フィジクス、第6巻、第5号、1985年、pp. 297-303
153. 大津元一、「7. レーザー、1983年光学界の展望」、光学、第13巻、第2号、1984年4月、pp. 102-104
154. 大津元一、「レーザー周波数の安定化技術」、電気学会雑誌、第104巻、第9号、1984年9月、pp. 801-805
155. 田幸敏治、大津元一、土田英実、「半導体レーザーの周波数安定化」、応用物理、第52巻、第5号、1983年、pp. 407-411
156. 大津元一、田幸敏治、「レーザー周波数安定度、再現性向上のための分光的手段」、分光研究、第32巻、第5号、1983年、pp. 305-317
157. 田幸敏治、大津元一、「原子ビーム・レーザー分光」、応用物理、第47巻、第8号、1978年、pp. 771-779